

平成 29 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	学習意欲を高め、基礎学力や社会性を身につけさせるとともに、有意義な高校生活を送ることができる仕組みを充実させる。 (1) 生徒の基礎学力の習得と希望進路の実現に向けた学力向上を図る。 (2) 授業改善により、生徒の主体的で協働的な取組を促す。	・学習意欲の向上により基礎学力や社会性を身につけさせ希望進路を実現する。 ・生徒の主体的で協働的な取組を促す授業改善を推進する。	・『チャレンジ&ベーシックⅠ』『常識&ベーシックⅡ』の教材や教授法を検討し、より生徒の実態に即したものにしていく。 ・校内授業研究を通して、生徒が主体的に授業に取り組むための授業改善を組織的に行う。 ・新しい教育課程に向けて編成作業を進める。	・教材や授業方法について改善が見られたか。また、学び直しの効果により学習意欲が向上したか。 ・普段の授業において、生徒が主体的に授業に取り組む姿が見られたか、また、生徒による授業評価で肯定的な回答が多かったか。 ・新教育課程編成に向けた取組みができたか。
2	生徒指導・ 支援	(1) シチズンシップ教育の一環として規範意識の一層の向上を目指す。 (2) 個に応じた生徒指導・支援を充実させる。	・生徒一人ひとりの個に応じた生徒指導と支援により公共心や規範意識を向上させる。	・SSEにより自他を尊重する気持ちと社会性を涵養する。 ・喫煙、薬物乱用防止等講演会を通じて規範意識の向上に努める。 ・全校集会、学年集会において、公共マナーの遵守を呼びかける。 ・学年指導、特別指導において個々の問題に応じた指導を心がける。 ・支援のチーム化のため、生徒情報の共有促進を図る ・個に応じた支援をめざし、課題を抱える生徒の理解に努める ・SC、SSW、多文化教育コーディネーターなど他職種の専門性を生かした支援を構築する	・効果的に SSE を実施できたか。 ・各種講演会による効果があったか。 ・全校集会等において公共マナーについて呼びかけられたか。 ・課題を抱える生徒に対してチーム支援が行えたか。 ・生徒の課題の背景を踏まえた支援ができたか。 ・他職種をまじえた連携のとれた支援が実現できたか。
3	進路指導・ 支援	(1) 計画的な進路指導の実践により、生徒一人ひとりの進路意識を育てるとともに進路希望の実現を支援する。 (2) 生徒の自主的・主体的な活動を通して生徒のリーダー性を高める。	・進路意識を高め、計画的な進路指導により希望進路実現を支援する。 ・生徒の自主的・主体的活動を促しリーダーシップを育成する。	・インターンシップの充実を図り、キャリア教育実践プログラムに基づいて、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成を推進する。 ・学校行事や委員会活動などを通して生徒の主体性を高めたりリーダー性を発揮したりする場を提供する	・昨年より多くの生徒がインターンシップに参加したか ・生徒が主体性やリーダー性を発揮する場を数多く提供したか
4	地域等との 協働	地域に根ざし、地域に開かれた学校づくりを推進する。	・広報や交流活動等により開かれた学校づくりを推進する。	・保護者との連携による地域貢献活動の充実・推進を図る。 ・広報活動による地域との信頼関係づくりを推進する。 ・公開講座開催に向けた校内体制の確立により、地域との連携・協働の推進を図る。	・地域貢献活動が充実できたか。 ・地域との信頼関係づくりが進んだか。 ・公開講座開催に向けた校内体制が確立したか。
5	学校管理 学校運営	(1) 事故・不祥事を防止するとともに、教職員の能力を生かした円滑な学校運営を行う。 (2) 防災意識を高め、安全で安心できる教育環境を確立する。	・事故不祥事の未然防止等、円滑な学校運営を行う。 ・防災意識の向上と安全安心な教育環境を確立する。	・個人情報保護、諸表簿作成等の点検体制、適正な私費会計処理を徹底させる。 ・情報の共有化と業務文書等の整理と管理の徹底 ・釜利谷協議会との連携 ・地域との連携の下、防災意識を高める取組みを構築する。 ・安全でユニバーサルな教育環境を充実させる。	・事故ゼロに向けた取組を行ったか。 ・情報の共有化と業務文書等の整理と管理が徹底できたか ・様々な職種の職員との効果的な連携により学校運営体制が確立できたか ・防災意識を高められたか。 ・安全かつユニバーサルな教育環境を作ることができたか。